

平成22年度「手づくり郷土賞」に 「将監沼の自然」とふれあいを育む会の地域活動が選定されました

地域づくりに取り組む活動団体等の優れた地域活動を表彰する「手づくり郷土賞」は、今年度で25回目の開催となる国土交通大臣表彰制度です。(別添資料1参照)

今年度、東北地域からは『将監沼の自然とふれあいを育む』(「将監沼の自然」とふれあいを育む会)が選定されました。

この取組みは、仙台市の将監団地内にある荒れ放題となっていた将監沼を中心とした公園を地域ボランティアの手で再生させた取組が高く評価されたものです。

また、今回の選定に伴う認定証伝達式を、平成23年1月27日(木)に、受賞地域で開催します。

東北地方での選定箇所

【一般部門】地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果が対象。

応募件名	将監沼の自然とふれあいを育む ～地域あげて将監沼の風景を取り戻す～ (別添資料2参照)
応募団体	「将監沼の自然」とふれあいを育む会 (会長 奈須野 隆宏)

【認定証伝達式】

- ・日 時：平成23年1月27日(木) 10:00～(30分程度を予定)
- ・場 所：仙台市泉区役所 3F 特別会議室
- ・住 所：仙台市泉区泉中央二丁目1-1

※国土交通本省においても同様に記者発表しております。

※伝達式終了後は将監風致公園の現地視察(1時間程度)を予定しております。

※伝達式当日の取材をご希望の場合は会場の都合がありますので事前にご連絡お願い致します。

発表記者会：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 代表 022-225-2171
企画部 建設専門官 今野 裕美 (内線3156)

平成22年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」の概要

手づくり郷土賞とは

「手づくり郷土賞」は、地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く紹介し、地域の個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組に資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度です。

『部門』

『一般部門』：地域の魅力を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果が対象。

『大賞部門』：これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果（たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など）

選定について

「手づくり郷土賞」は“手づくり郷土賞選定委員会”の審査を経て選定されております。

「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長	西村 幸夫	東京大学先端科学技術研究センター 教授
委員	大村 哲夫	(財)港湾空間高度化環境研究センター 理事長
	金安 岩男	慶應義塾大学環境情報学部 教授
	田村 美幸	公共の色彩を考える会 名誉会長
	藤吉 洋一郎	大妻女子大学文学部 教授
	藤原 まり子	博報堂生活総合研究所 客員研究員
	北村 隆志	国土交通省総合政策局長

平成22年度受賞件数

今年度は、全国で一般部門22件（東北1件）、大賞部門3件が選定されています。

※ 過去の受賞案件については、東北地方整備局ホームページをご参照ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/K00360/tezukurifurusato/index.html>

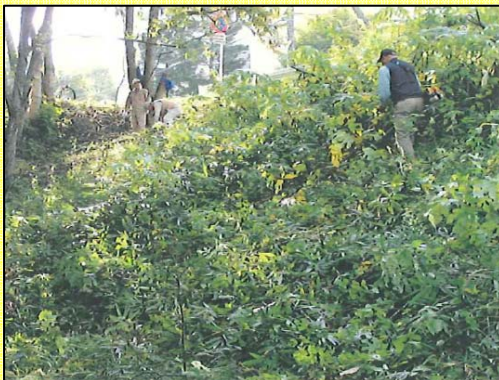
《一般部門》 「将監沼の自然」とふれあいを育む会

しょうげんぬま
将監沼の自然とふれあいを育む～地域あげて将監沼の風景を取り戻す～

将監沼について

仙台市の将監団地内にある将監沼を中心とした「将監風致公園」は雑草が繁茂し、ゴミが散乱して荒れ放題となっており、子供はもちろん大人でも危険で入れる状況ではありませんでした。そんな中、都市の中にある緑のオアシス「将監沼」の再生や、関係が希薄化しつつある住民同士のふれあいを深めるため、地域の諸団体にも協力を呼びかけて「将監沼の自然」とふれあいを育む会を立ち上げました。以来、ボランティアによる沼周辺の間伐、草刈り等を行い、将監沼は昔の面影を取り戻し、地域のあらゆる人が楽しめる憩いの場へと変身しています。

整備前



整備後

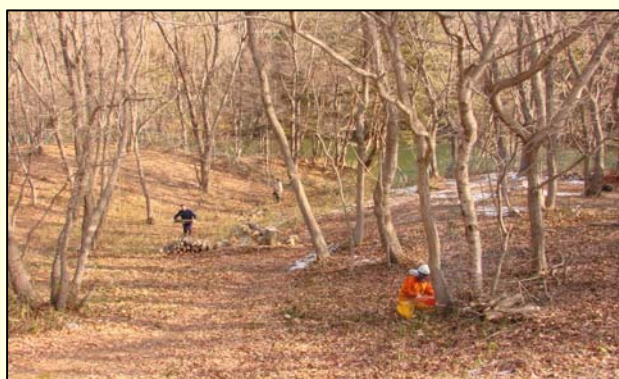


地域の活動について

市民による再生活動が始まったのは平成15年に将監町内会・自治会連絡協議会の創立30周年を記念して開催した「さくらまつり」の大盛況がきっかけでした。将監沼を中心とした公園が地域の大切な宝であると再認識した市民は「将監沼の自然」とふれあいを育む会」を結成し、活動目的に①自然の宝「将監風致公園」の再生②地域のコミュニケーションを自然を活かしながら深める③子育て支援の3つの柱を掲げました。以来、ボランティアによる沼周辺の間伐・草刈り、地域イベントとして「さくらまつり」「沼のほとりのコンサート」、地元学講座「ふるさと探訪」など様々な取組を行い、多くの住民の共感を得て現在約1,300名もの会員を要するまでになっています。



毎月第3日曜日に行われている下刈りのようすです。この他にも、休日を利用して有志の方々が電動機具を肩に頑張っています。



12月から3月の厳寒の中での間伐作業です。慣れていない方には危険なので、行政の力と、地域の中でも経験をお持ちの方に頑張ってもらっています。



小学校の「総合的学習の時間」で会の活動を紹介、将監の由来などについて講義しました。



1月に毎年開催のコンサートも定着し多くの皆さんに素晴らしい音楽を楽しんで頂いております。



将監の小中学校の皆さん、地域の皆さんの歌や踊りの発表の場になっています。銀行、商店の皆様たちの協力で大抽選会も行っています。



子育て支援の一環で、将監小学校「みどりの少年団」に巣箱作りと取り付け作業の支援を行いました。